第２章 亀戸で目指すまちづくり

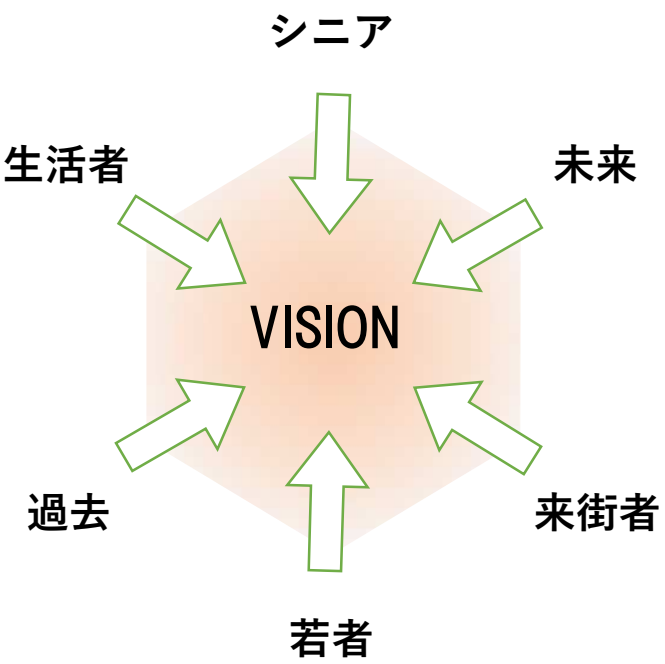
まちづくりの基本方針

《亀戸まちづくりの目標》

六方芳(ろっぽうよし)!! ほっぺがゆるむ水彩シティ亀戸

亀戸では、誇れる歴史と豊かな水辺空間を活かし、生活者と来街者、若者とシニア、過去と未来、各方向のニーズを満たし、思わずほっぺがゆるむまちづくりを目指します。

《未来ビジョンを捉える６つの視点》



未来ビジョンは、①生活者と来街者、②若者とシニア、③歴史と未来の３×２＝６つの視点を持って捉えます。

①生活者と来街者
生活利便性が高く住宅も多いまちである一方で、観光資源も豊富なため、生活者と来街者のニーズを捉えたまちづくりを目指します。

②若者とシニア
子育て世代が増加する一方、先住のシニア層も多く、双方が共存するまちづくりを目指します。

③過去と未来
亀戸のまちを創り上げてきた人々から歴史を引き継ぐと共に、次世代を見据えて最新の技術や知見を活かしたまちづくりを目指します。

《未来ビジョンを構成する６つの基本方針》

未来ビジョン実現のため、６つの基本方針のもとにまちづくりを検討します。

1 歴史の継承と発信

神社仏閣、浮世絵等の芸術文化など、亀戸の誇れる歴史資源を継承すると共に、それらを活かし、発信します。



2 水辺の活用

江戸時代に整備された河川による豊かな水辺空間を活用し、水辺を楽しむ暮らしと観光まちづくりを検討します。



3 食文化の振興

広く愛される食文化と商店街の賑わいを更に振興し、住みたくなる、食べに来たくなるまちを目指します。



4 回遊性の向上

歴史・水辺・食文化等の資源を繋ぎ、歩きやすい空間整備をすることで、亀戸駅を越えて東西南北の回遊性を向上させます。



5 明るく快適な空間の形成

誰もが安心して過ごせるまちを目指し、花や緑があふれ、滞在したくなる、明るくきれいな景観を形成します。



6 防災の強化

地震・火災に加えて、昨今の気候変動を踏まえた水害への対策を強化し、浸水対応型のまちづくりを推進します。



出典『令和7年度 江東区・第七消防方面 合同水防訓練パンフレット』

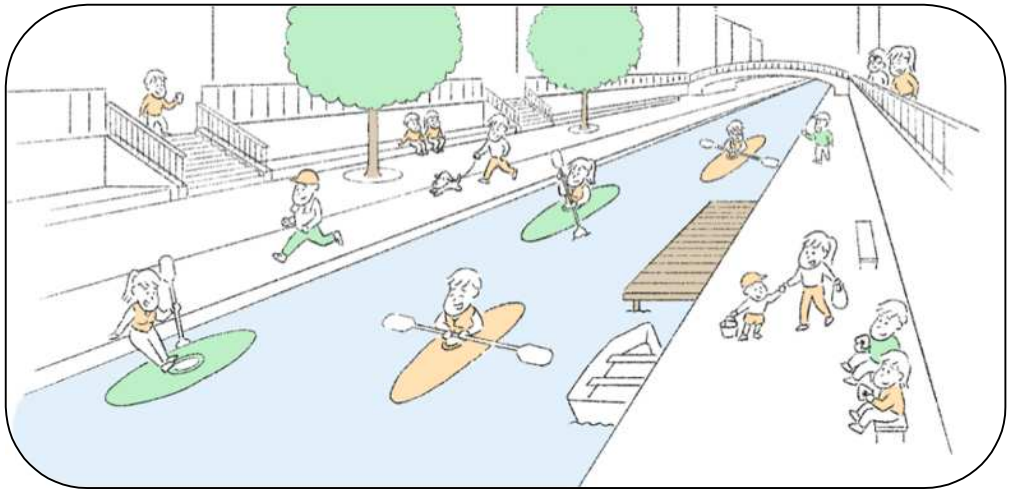
創出したいまちなかのシーン（将来像）

亀戸のまち中に創出したい１０のシーン（将来像）をまとめました。
これから亀戸エリアプラットフォームでは、このシーンを具体化するために活動していきます。



①亀戸を取り囲む川：回遊できる夢見る遊歩道

関連する基本方針：②水辺の活用、④回遊性の向上、⑤明るい景観の形成



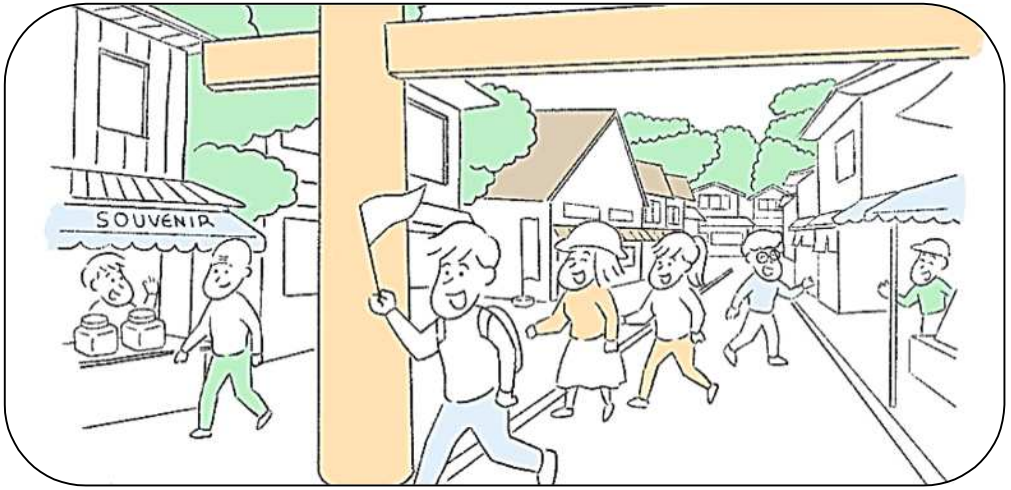
遊歩道や船着き場、釣りができる場所を整備するなど、より一層利用者のニーズに応えた空間づくりを推進します。遊歩道沿いにはベンチなどを設け、ゆったりと滞在できる空間やイベント等に活用できる空間の充実を図ります。

《捉えたいターゲット》



②神社仏閣：みんなで知ろう・教えよう！亀戸の歴史

関連する基本方針：②水辺の活用、④回遊性の向上、⑤明るい景観の形成



亀戸に点在する神社仏閣は、緑も多く散歩等にも適した生活者からのニーズに応える環境を維持しています。地域資源を活かし、地域の歴史文化を次世代へ継承する人材の発掘・育成や、七福神めぐりをはじめとする歴史文化に触れる機会の創出につながる取組を進めます。

《捉えたいターゲット》



③歴史資源が豊富な通り：
江戸時代にタイムスリップ！

関連する基本方針：①歴史の継承と発信、 ③食文化の振興、④回遊性の向上



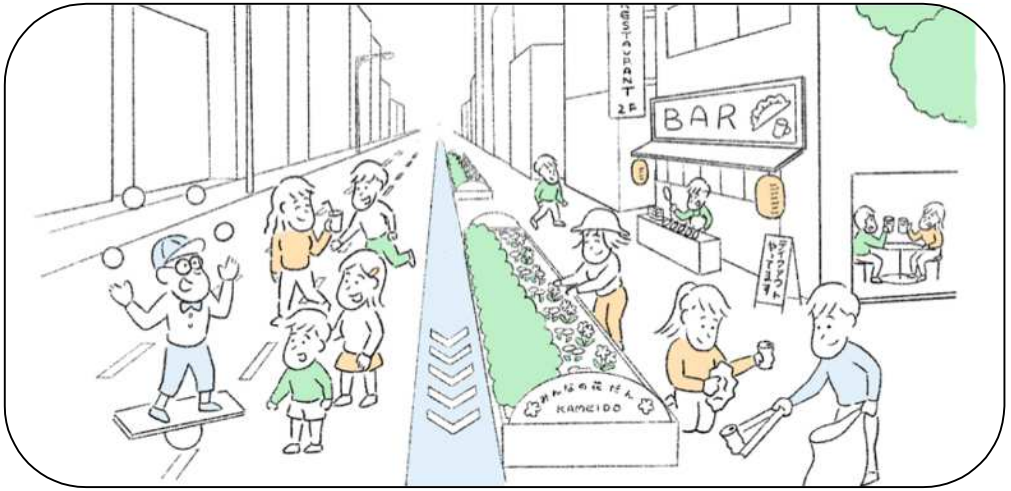
浮世絵や歌舞伎などに関連した歴史を活かして観光客や歌舞伎ファンの訪問を促進し、アーティストや出店希望者などと連携した歴史と文化を楽しむ通りづくりを推進します。滞在空間の創出や、食べ歩き・着付け等カップルや若者に認知される取組を推進します。

《捉えたいターゲット》



④都市の骨格軸：
誰でも安心して歩けるきれいな通り

関連する基本方針：④回遊性の向上、 ⑤明るい景観の形成



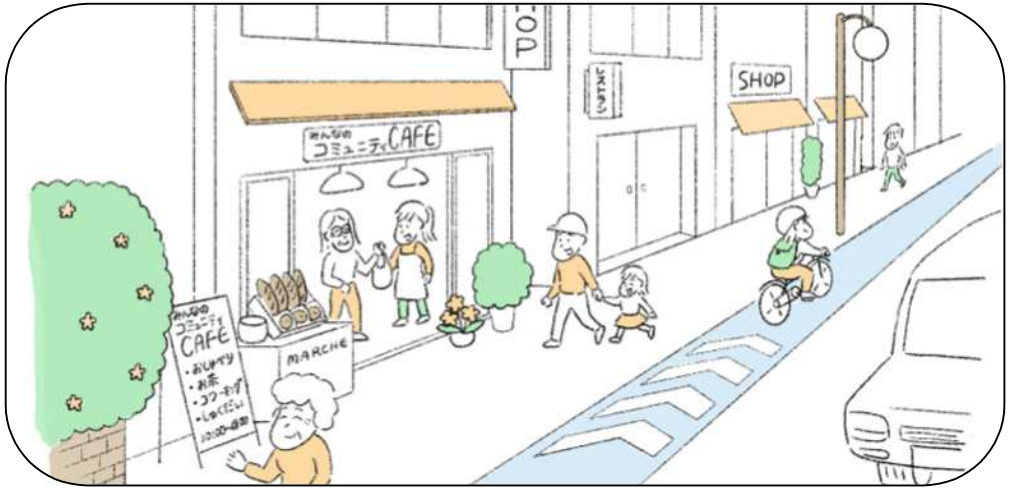
店舗が連なる活気を維持しつつ、安全で快適な通行環境を確保し、誰もが安心して歩ける通りの形成を図ります。歩行者天国や大道芸等を実施している通りは、継続できる仕組みづくりに加え、花植えや清掃活動など地域コミュニティの活性化につながる取組を推進します。

《捉えたいターゲット》



⑤商店街：
多世代が集うわくわく商店街！

関連する基本方針：③食文化の振興、④回遊性の向上、⑤明るい景観の形成



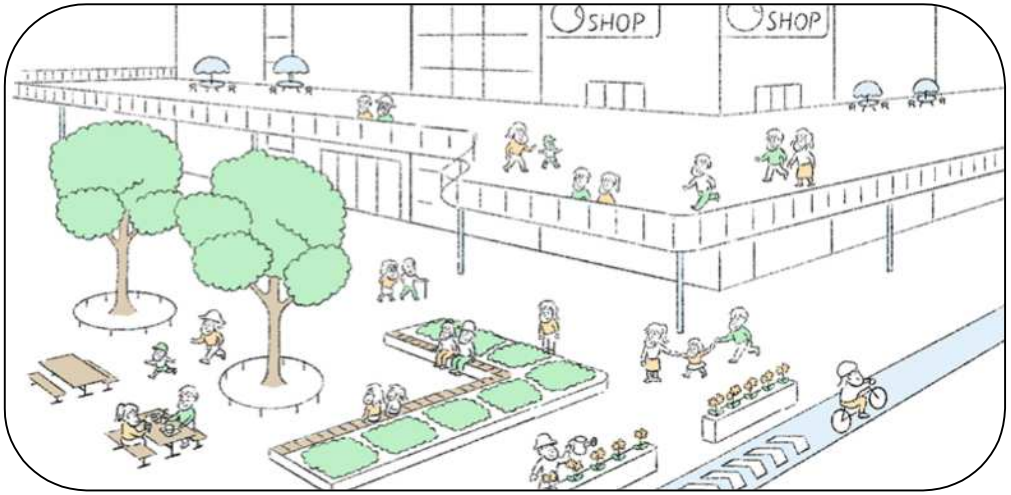
生活者にも来街者にも親しまれる通りを維持しつつ、高齢者や子育て世代なども集いやすい場所づくりや、“映え”要素の強化などによるまちの賑わいにつながる取組を進めます。安全な通行環境を確保するサインの充実など、誰もが過ごしやすい環境の形成を図ります。

《捉えたいターゲット》



⑥駅前広場：
駅前改造！広く・分かりやすく・使いやすく

関連する基本方針：④回遊性の向上、⑤明るい景観の形成、⑥防災の強化



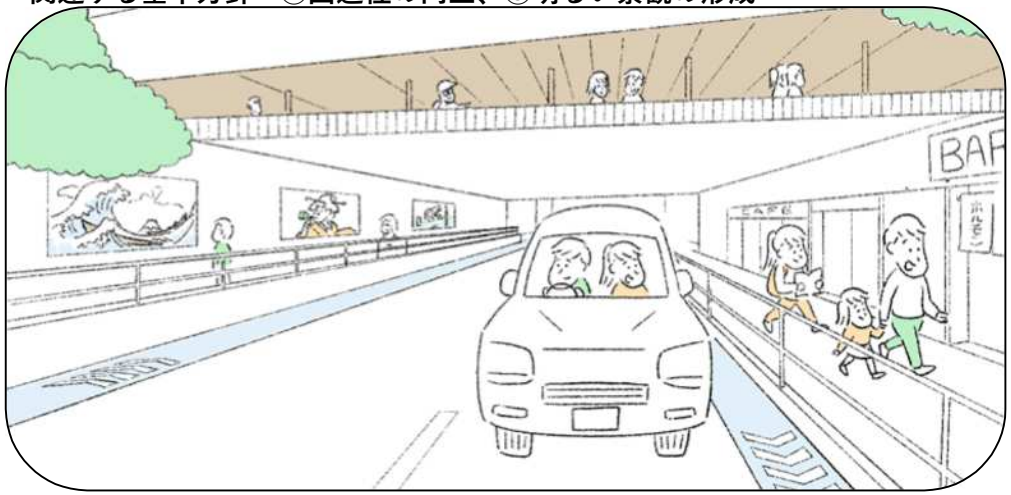
亀戸駅前広場の分断や違法駐輪への対応、さらなる歩行環境の向上などの交通面での課題解決と、周辺建物と連携した水害を含む災害時の対策が求められます。コーヒーを飲む、お弁当を食べる、花を育てるなど、場に賑わいを生み出すアクティビティの創出も望まれます。

《捉えたいターゲット》



⑦線路下通路：
安全で魅力ある南北アクセス空間

関連する基本方針：④回遊性の向上、⑤明るい景観の形成



亀戸駅周辺に３か所ある南北を繋ぐ重要なアクセス路は、安全な歩行空間の確保に加え、多様な手法による空間の魅力向上や賑わいの創出を図ることで、安心して歩ける通りとしていくことが求められます。

《捉えたいターゲット》



⑧線路沿い：
今よりもちょっとおしゃれな通り

関連する基本方針：②水辺の活用、④回遊性の向上、⑤明るい景観の形成



ランチやお茶などのニーズに応え、既存の居酒屋と共存しつつも、親子やこどもなども安心できる通りへの再編が求められます。交通結節点における動線のバリアフリー化や、周辺空間の整備、水害に備えた垂直避難が可能なスペースの確保などが望まれます。

《捉えたいターゲット》



⑨緑道：
もっと明るく！生活者の憩いの場

関連する基本方針：①歴史の継承と発信、④回遊性の向上、⑤明るい景観の形成



緑道に沿った道路や隣接する店舗等とのアクセスの改良などにより、南北軸だけでなく、緑道から東西への回遊性の向上につながる取組を進めます。日常的な清掃や利用者のマナー徹底を促すことで、誰もが気持ちよく利用できる憩いの場としての通りづくりを推進します。

《捉えたいターゲット》



⑩公園：
一日中過ごせる、水と花のハーモニー

関連する基本方針：②水辺の活用、④回遊性の向上、⑤明るい景観の形成



祭利用や飲食、散歩などの日常的な憩いの場としてのニーズを維持しながら、フジやアジサイなど亀戸らしいみどりを活かし、周辺のカフェ等と連携した利用促進や、花や野菜を育てられる場の創出などが望まれます。喫煙者に配慮した空間整備も重要です。

《捉えたいターゲット》



コラム
未来ビジョンのヒント

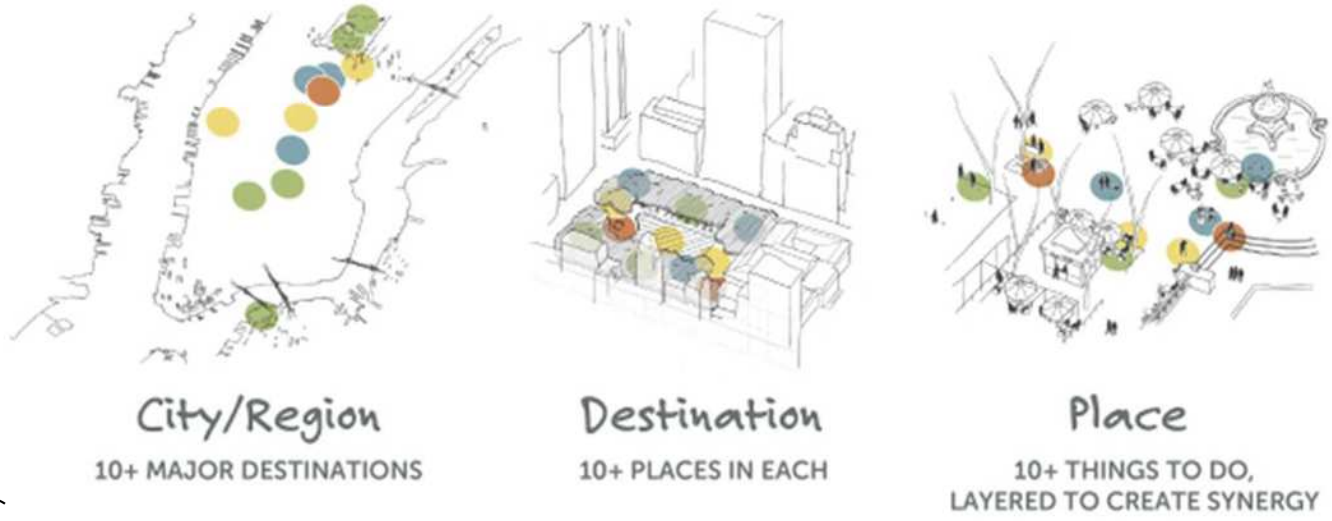
「Power of 10」という考え方

亀戸エリアプラットフォームでも、掲げた目標を具現化するために、まずは１０の創出したいまちなかのシーン（将来像）を検討し、イメージを描いてみました。

「Power of 10+」の概念

どのような規模の都市も、最低10か所の目的地が連続的に近接しているべきであり、各目的地はより小さな10の場所によって構成されるべきである。そして、各場所は人びとが携わる事ができる活動や行為を最低10個は提供すべきである。

by Project for Public Spaces（通称PPS）



出典： Project for Public Spaces ウェブサイト
PPSは、1975年にニューヨークで設立され、世界各地で公共空間づくりを支援しています。